template

縫製～縫製＝728×515㎜（B2 size） 横型 Tapestry

① 支給データ	：	印刷用完成データ（Illustrator、PSD、BMP、JPEG など）と、データ内に使用している画像・ロゴなどの素材データを、印刷用完成データと別に『material』というフォルダを製作して頂き、その中に纏めて保存して下さい。 印刷用完成データを元に製作致しますが、昇華転写による色変化が起こる為弊社で背景・ロゴ・キャラクターなど個別に色調整を行い完成度を高めています。個別データも合わせてご提供頂けると、微調整はこちらで行えます。 また、印刷時にデータ抜けが無いか確認する為に、完成見本としての JPEG ／ PDF データもご提供下さい。
② 支給データ形式	：	印刷用完成データには、Illustrator データをご提供下さい。 Photoshop、BMP、JPEG（最高画質）でも製作可能ですが、文字などは滲む場合があります。
③ 画像解像度	：	データ内に画像を使用される場合、理想の解像度は 350dpi、最低でも 150dpi 以上の実寸サイズを使用して下さい。 実寸サイズが小さく、無理に引き伸ばして使用されるとドットなどが出て、仕上りが荒くなります。
④ 背景余白	：	裁断箇所と縫製幅について、多少の個体差が生じます。裁断のズレが生じても仕上りに影響しないよう、 400×900mm（又は B2）未満のサイズは、裁断線上下左右に＋20mm ずつの背景データを、 400×900mm（又は B2）以上のサイズは、上下左右に＋30mm ずつの背景データを用意して下さい。 （ご提供データがテンプレートサイズより不足している場合、製作をお断りさせて頂きます）
⑤ ロゴ・copyright	：	上記背景同様、多少の個体差が生じる為、裁断や縫製にかかってはいけないロゴ・copyright などは、 400×900mm（又は B2）未満のサイズは、裁断線より上下左右に -20mm 以内に、 400×900mm（又は B2）以上のサイズは、裁断線より上下左右に -30mm 以内に配置して下さい。（印刷安全範囲内）
⑥ アウトライン化	：	文字とパスは、必ずアウトライン化したデータをご提供下さい。
⑦ デザイン	：	デザイン上縁付近に直線の線などを配置すると、裁断や縫製により生じる伸びや歪みが目立ちます。 デザイン製作時に、裁断面近くに枠や直線などを使用することはお控え下さい。
⑧ レイヤー	：	データ製作上で、可能な場合「背景」・「文字」・「ロゴ」・「キャラクター」・「テンプレート」を、それぞれ別のレイヤーに分けて製作して頂けると助かります。
⑨ ファイル名	：	ファイル名、データ内のレイヤー名は、半角英数文字で入力をお願い致します。（スペースは使用しないで下さい。）

塗り足し必要範囲：768×685㎜

※塗り足し位置
必ず灰色の枠までデータを入れて下さい。

⚠ 入稿前に最終確認の CHECK LIST ⚠

- □ [支給データ]
  - ・印刷用完成データ（Illustrator、PSD、BMP、JPEG など）
  - ・「material」フォルダ（画像・ロゴなどの素材データ）
  - ・完成用見本（JPEG ／ PDF）
- □ [画像解像度]
  - ・理想の解像度は 350dpi、最低でも 150dpi 以上の実寸サイズ
- □ [背景余白]
  - ・400×900mm（又は B2）未満のサイズ＝裁断線上下左右に＋20mm ずつの背景データ
  - ・400×900mm（又は B2）以上のサイズ＝裁断線上下左右に＋30mm ずつの背景データ
- □ [ロゴ・copyright]
  - ・400×900mm（又は B2）未満のサイズ＝裁断線より上下左右に -20mm 以内
  - ・400×900mm（又は B2）以上のサイズ＝裁断線より上下左右に -30mm 以内
  - （テンプレート印刷安全範囲内に配置）
- □ [アウトライン化]
  - ・文字とパスは、必ずアウトライン化
- □ [デザイン]
  - ・デザイン製作時に、裁断面近くに枠や直線などを使用しない
- □ [レイヤー]
  - ・可能な場合「背景」・「文字」・「ロゴ」・「キャラクター」・「テンプレート」を、
  - それぞれ別のレイヤーに分けて製作して頂けると助かります。
- □ [ファイル名]
  - ・ファイル名、データ内のレイヤー名は、半角英数文字で入力（スペースは使用しない）